

日頃よりの学校支援、誠にありがとうございます。コロナ禍のところ、保護者の皆様には、子供たちへの「感染症対策」及び「安全対策」へのご協力、誠にありがとうございます。学校といたしましては、今後も「コロナの終息（収束）」を待つのではなく、「ウイズコロナ」として対応してまいります。

最初に、このデータをご覧ください。ステージのスライドですが、アメリカの感染症対策総合研究所が発表した「年齢・基礎疾患による重症化のリスク」です。

18歳～29歳をベースとして考えますと、小中学生は入院する確率は9倍も低く、死亡する確率は16倍も低いです。それに比べて年齢が上がってきますと確率は高くなり、85歳以上では、入院の確率は13倍、死亡率はなんと630倍にもなります。また、高血圧・糖尿病・腎臓病などの基礎疾患が3つ以上あれば、さらにその5倍となり、高齢者の死亡率は3150倍となります。昨日、フランスの元大統領が94歳でコロナによって亡くなっています。本校では、絶対に「クラスター」を発生させることはできません。

今、子供たちはマスクを着用して、手洗いもしっかりと行っています。これから水が冷たくなってきますので、休み時間後や給食前には、「手洗いの音楽」をかけて、手洗いをしっかりと行っていききたいと思います。

本日の風邪症状でのお休みは4名ですが、昨日は3名となっていて、昨年と同じ時期に比べるとかなり少なくなっています。これは「感染症対策」の効果であると考えます。また、軽い風邪症状のうちからしっかりとお休みしていただいていますので、長期間お休みする児童も少ないです。本校校医の田村先生は、多摩市の医師会の会長でもありますが、今期はインフルエンザの流行は無いかもしれないとおっしゃっていました。

本日配布しましたプリントには、本校の「感染症対策」や「学習の充実を図るために」等を掲載していますが、その中で「学校公開の中止」に関しましては、苦渋の選択でした。子供たちの学校での「生き生きとした姿」を保護者の皆様にぜひご覧いただきたいと、教職員全員、心から思っております。時間差による少人数での参観やWEBでの公開など、検討いたしました。今年度はやはり実施しない方向で考えます。

その分、学校HPをさらに充実させておりますが、本日更新したのは「避難訓練」、昨日は、3年生の「図工作品」と「出前授業」についてアップしております。

本日配布いたしました資料右上のQRコードを読み取っていただきますと「学校HP」にログインできますが、上の段右側の「カレンダー」をクリックしていただきますと「本日の給食」を見ることができたり、月予定を確認したりすることもできるようになっています。

また「授業時数」に関しましては、1年生は文科省が定めた標準時数を100時間ほど多く実施し、基礎・基本の定着を図っております。WEBによる写真販売やアンケート調査、欠席連絡など、今までに行っていなかったことを「ウイズコロナ」の中で試行的に実施しております。各教室には電子黒板を設置し、ICT教育のさらなる推進を図り、「できることをできる形で、一步前進」するために、徒歩圏内での「校外学習」や「出前授業」を多く取り入れ、体験的な学習の充実を図っております。

その他、「感染対策についての都教委からの資料」「今年度の学力調査に関する結果」を配布させていただきました。本日は時間の関係で詳細につきましては割愛させていただきますが、子供たちは、毎日、本当によく頑張っております。

今後も、子供たちが充実した学校生活を過ごすことができますよう、全教職員で取り組んでまいります。保護者の皆様におかれましては、ご支援・ご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。早口となり、申し訳ありませんでした。